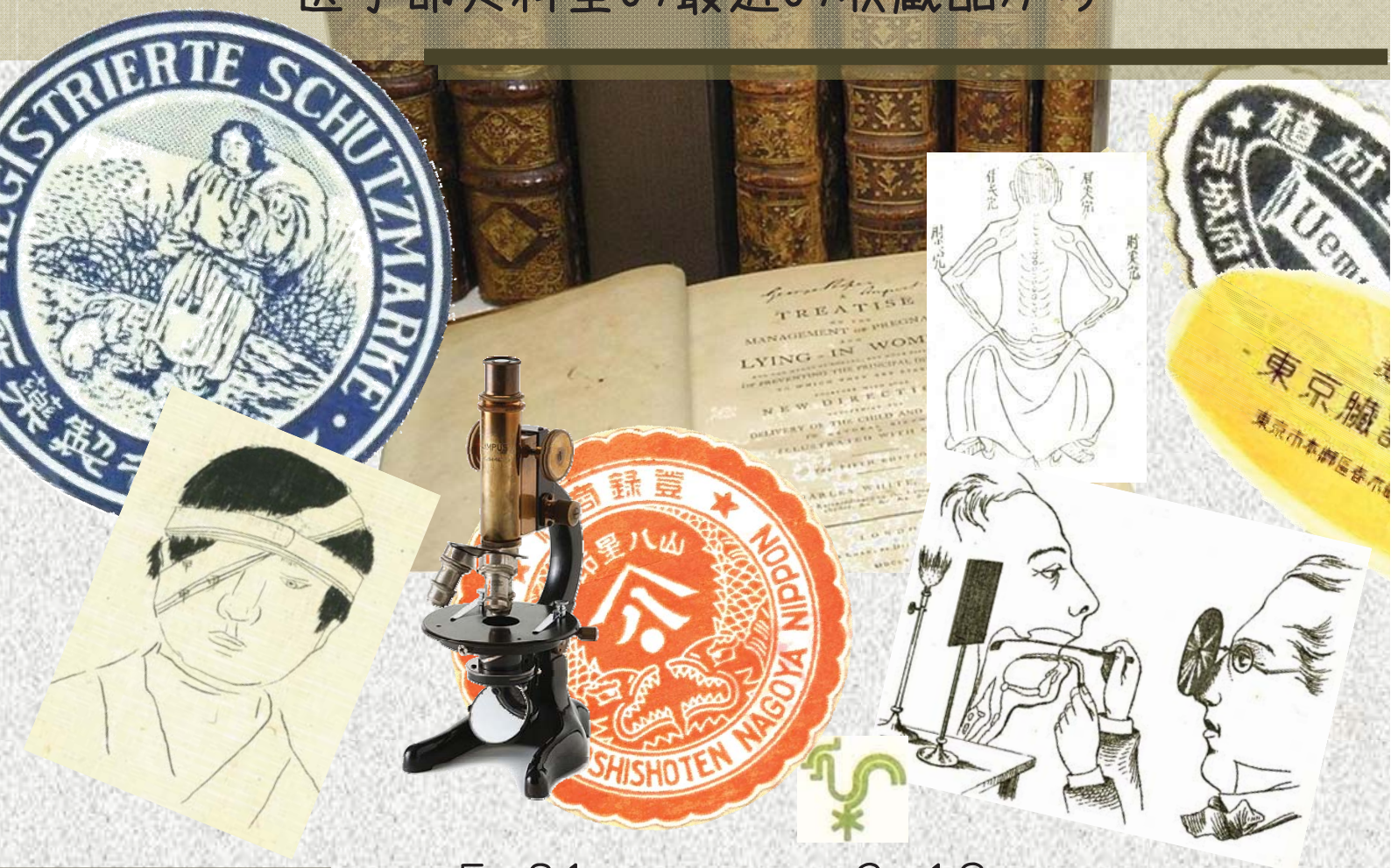


Nagoya University Medical Museum  
Small Exhibit 4th

ミニ展示会

珍品・逸品・新収品

— 医学部史料室の最近の収蔵品から —



2013 5. 21 TUE - 2013 9. 13 FRI

平日 9:00-20:00 8月8日-9月13日は9:00-17:00  
土 13:00-17:00

休館日: 日・祝日、8月15-16日、8月26-30日、8月10日-9月7日の土曜日

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

入場無料

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館  
名古屋市昭和区鶴舞町65  
TEL 052-744-2505

**珍品・逸品・新収品** **ミニ展示会** は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に最近寄贈された史料の中から、17~19世紀の日本と西洋の不朽の名著、昭和初期の国産顕微鏡の名機「昭和号GK」、激動の時代 昭和12年名古屋医科大学(名大の前身校)の卒業記念アルバム、戦前・戦中の珍しい薬瓶の封緘シールなど、珍品、逸品の数々を展示公開します。

また、NHK「八重の桜」の主人公 新島ハ重や、日本初の女医 荻野吟子などの生涯を描いたDVDと、ツツガムシ病発生地である新潟県での愛知県立医大(名大の前身校) 林直助博士の労苦と功績を描いた記録映画が視聴できます。



名古屋大学医学部史料室は、附属図書館医学部分館の4階にあります。

医学部史料室では、名古屋大学の源流である明治4年の名古屋県仮医学校設立前後の史料を中心とし、東海地方の医学の歴史的発展過程、さらに広く医学・医療史に関係する古医書、歴史的医療器具、古写真、絵画等を所蔵しています。

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。

